

農林水産大臣賞

効果的なサル対策を組み合わせた地域一体的な活動

仁保（にほ）地区鳥獣被害対策協議会（代表者 安野正純）
山口県山口市

主な取組

平成10年頃から顕在化したサル被害に対し、仁保地区では、サルに発信器を付けた接近警報システムや犬を活用した追い払い、牛の放牧による緩衝帯の管理、電気柵の設置、放任された柿やユズの除去など様々な対策を組み合わせて実施。

大学の協力を得てサルのテレメトリー調査（電波発信機を用いた生息状況調査）を行うとともに、集落の被害状況や被害の発生原因を詳細に診断することで、これらの対策を効果的に推進。

また、住民全体を対象とした研修会や小学生を対象とした体験学習を通じて、地区全体への理解が深まり、本年度からは自治会と連携して“さる被害防止見回り隊”を結成するなど、地域一体的な取組を展開。

これら地域が一体となった様々な取組は、先駆的なサル対策として注目され、各地に波及している。